

# 情報信託プラットフォーム 【DPRIME(ディープライム)】 概要ご紹介資料

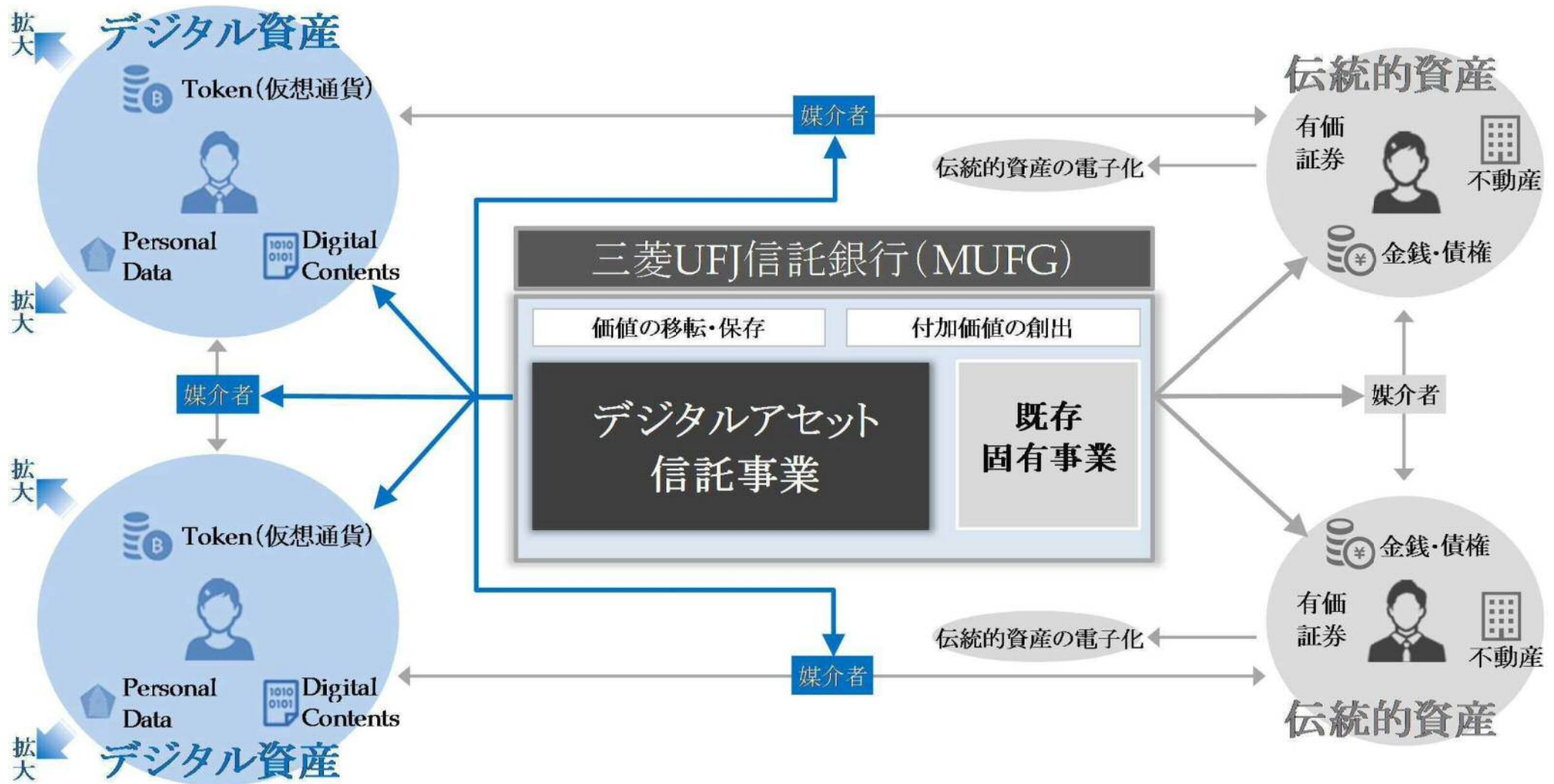
---

2018年9月

三菱UFJ信託銀行株式会社  
経営企画部・FinTech推進室

# 1-(1) 目指す世界観・事業目的

- 日本政府が提唱する「Society5.0」においては、データおよびデジタルアセットの本来所有者自らが当該財産を利活用し、1人1人のニーズに合った価値の保存・移転がなされる世界観が想定されている
- 三菱UFJ信託銀行は、信託機能によってこの「価値の保存・移転」を支え、社会的付加価値を創出する



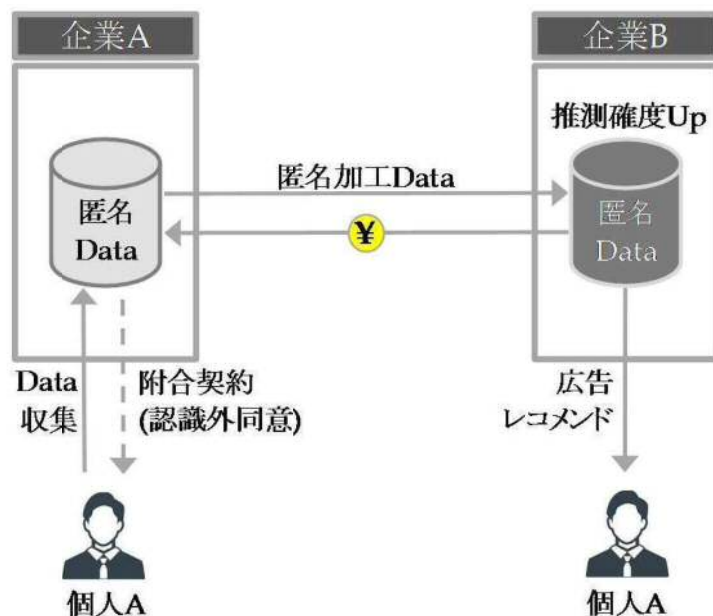
## 2-(1) 三菱UFJ信託銀行が志向する情報銀行の類型

- 現在のデータ流通形態としては、事業者主導で事業者間でデータを融通するCRMが主流（匿名化により個人同意取得不要）
- 一方、データの本来持ち主は個人とし、個人起点でデータを流通させるVRMという概念も存在
- 当社は、このVRMを前提に、個人が管理するにはハードルが高い領域を、データ運用管理者として支援する形態を想定

事業者主導

個人主導

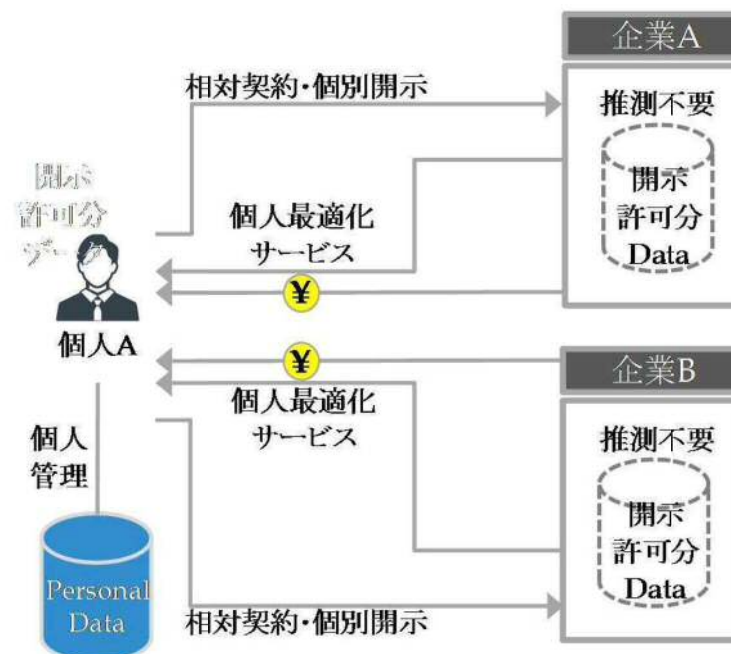
## 事業者間データ流通(CRM)型



## 個人の認識外でデータが授受される

- ・望まない広告や的を外したレコメンドが氾濫する
- ・マーケティングに利用される

## 個人起点のデータ流通(VRM)型

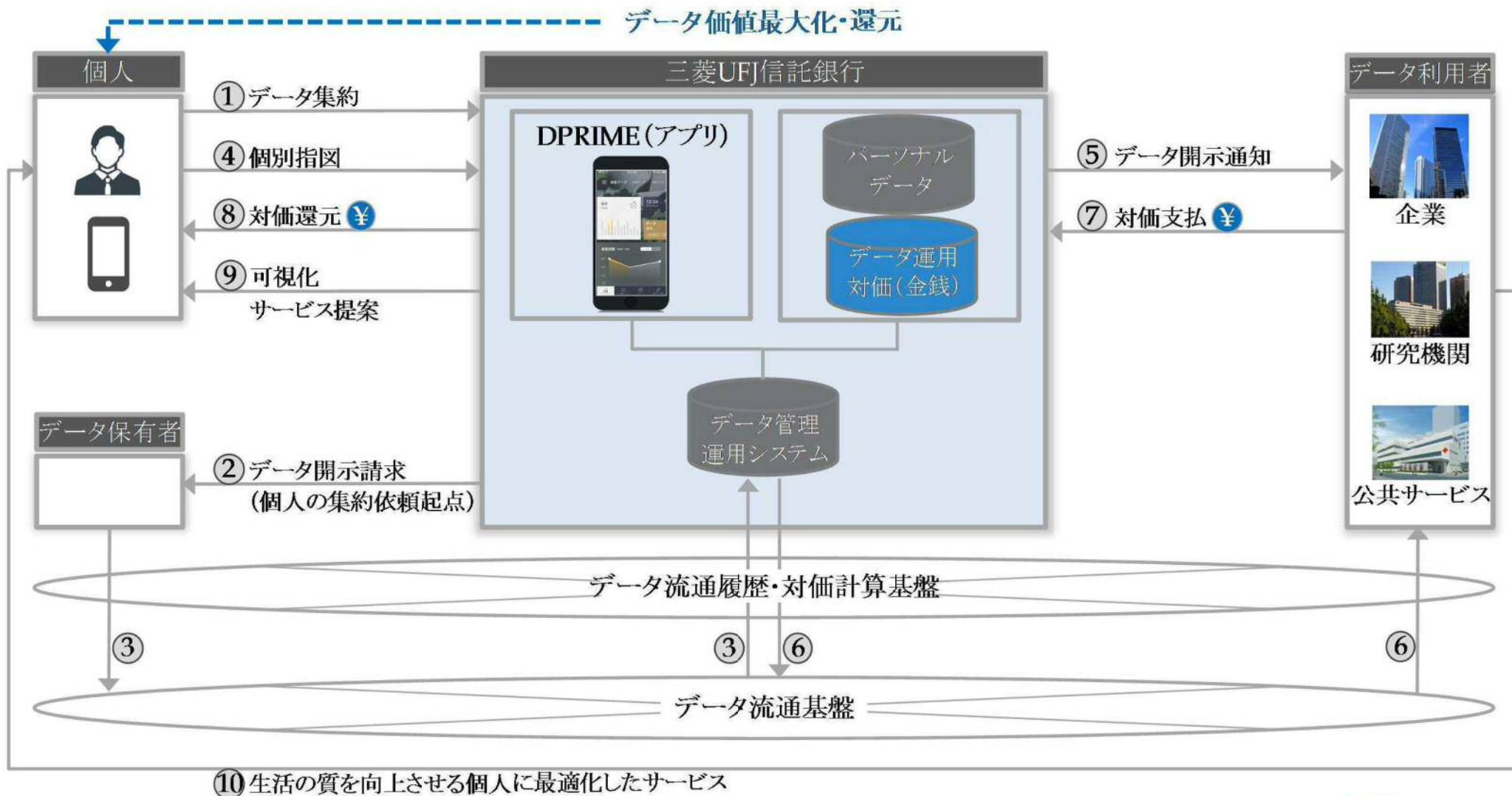


## 個人が自らの意志に基づきデータを流通できる

- ・データと開示先をコントロールできる
- ・個人最適化サービスを享受できる

## 2-(2) スキーム概要

- 個人だけではパーソナルデータ(PD)を管理・運用する手段がなく、企業等にとっては広告・自社のみではPD取得機会や潜在顧客への訴求力、既存顧客との関係構築力が不十分という課題を、個人同意の下PDを流通させることで解決する
- 個人がアプリをダウンロードし、当社を介して手元にPDを集約したうえ、PD提供オファー内容から自身で提供可否を判断できる



### 3-(1) パーソナルデータの選択と連携

Discussion Purpose Only

➤ データ選択画面で連携するデータを選択し、アプリへのデータ連携が完了する



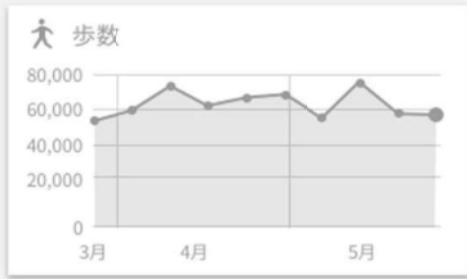
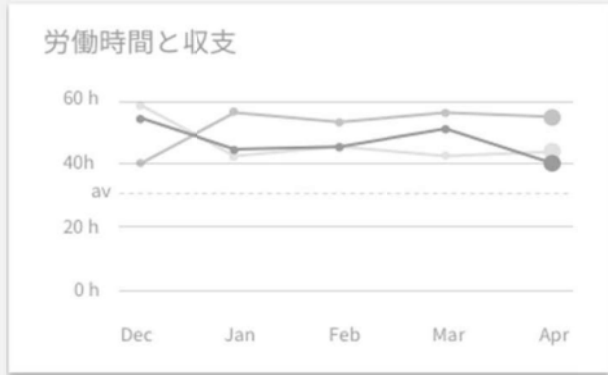
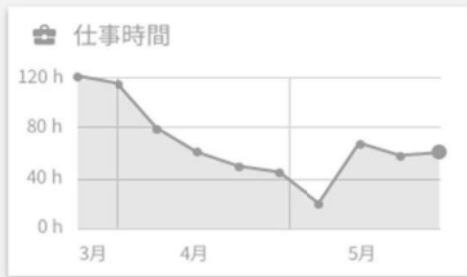
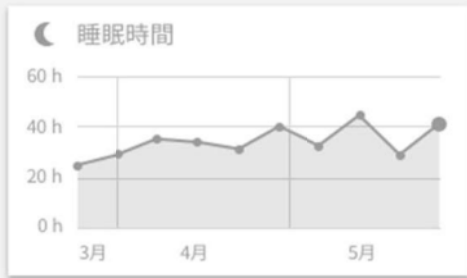
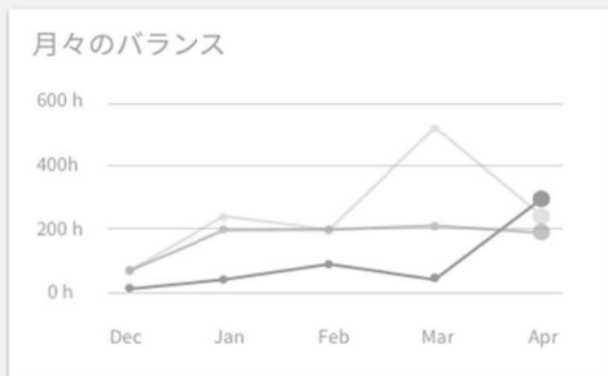
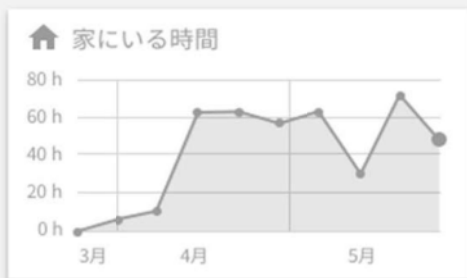
② アプリへのパーソナルデータの連携完了





# 3-(2) 可視化チャート例「ライフログ」

Discussion Purpose Only



# 3-(3) 可視化チャート「身体データ」

Discussion Purpose Only

**基本情報**

性別：男性      身長：172cm  
 年齢：32歳      体重：58.3kg  
 家族：未婚      基礎代謝：1,574kcal  
 子供：無し  
 職業：エンジニア  
 職場：新宿

**検診結果不正常項目**

2017年度：視力、聴力

**体型分析**      ●前々回 ●前回 ●今回

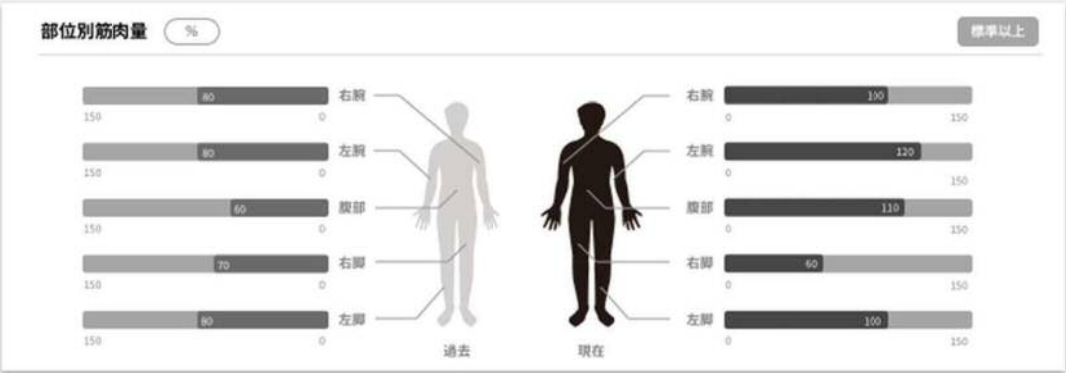
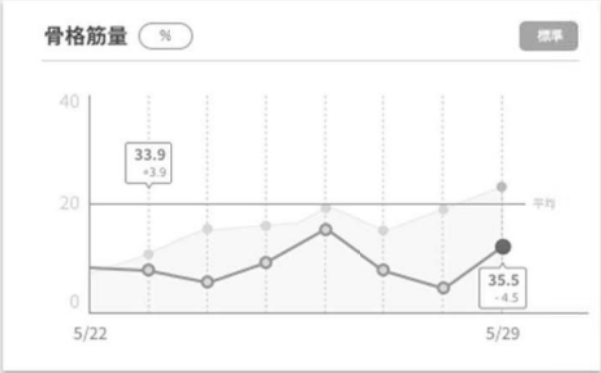
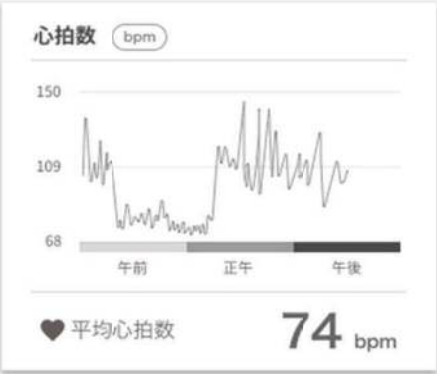
体脂肪率	かくれ肥満	肥満
	かくれ肥満気味	肥満気味
痩せ気味	スリム ●	標準
	痩せ	過体重
	筋肉質	アスリート

BMI

**BMI** (kg/m<sup>2</sup>)      標準

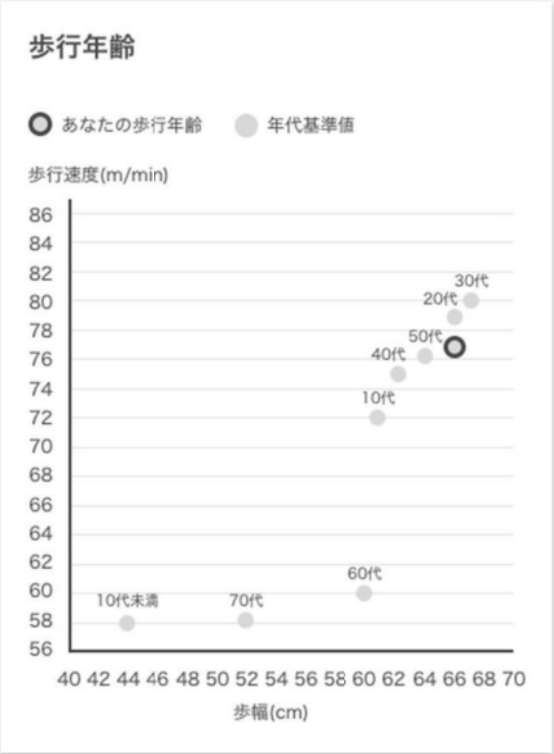
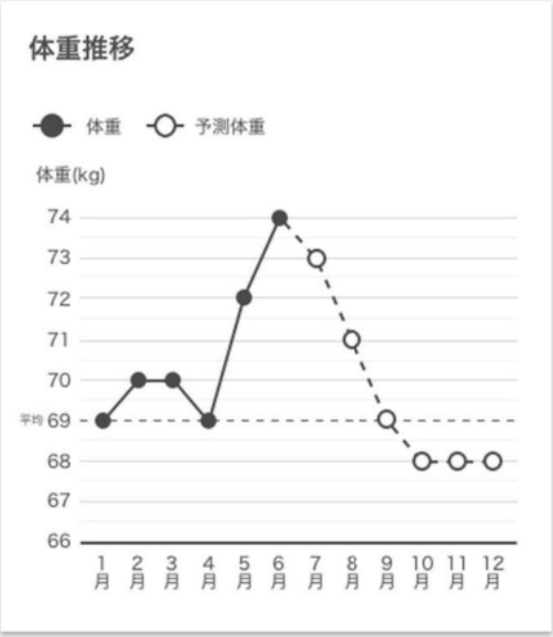
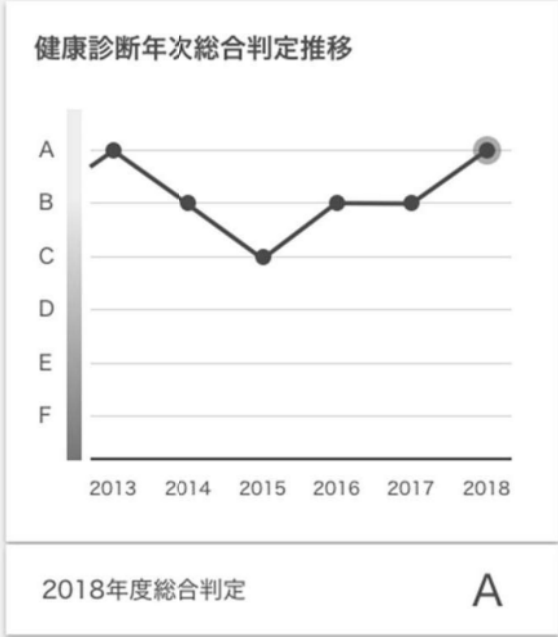
✓ BMI 20.5

低体重 18.5以下      標準体重 18.5~24.9      過体重 25~29.9      肥満 30~34.9      高肥満 35以上



# 3-(4) 可視化チャート「身体データ」

Discussion Purpose Only



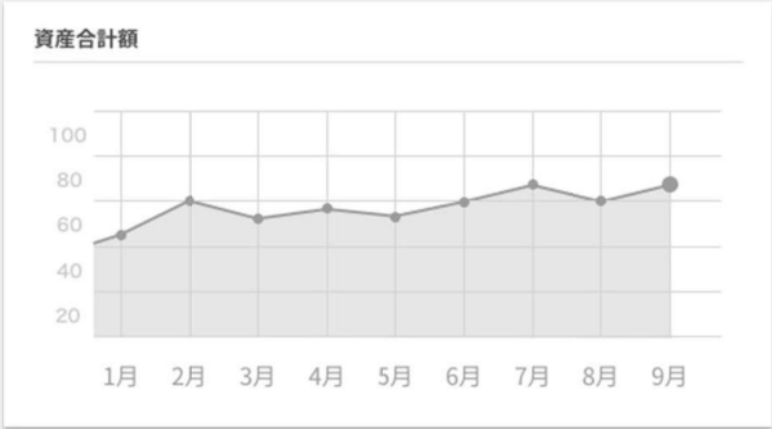
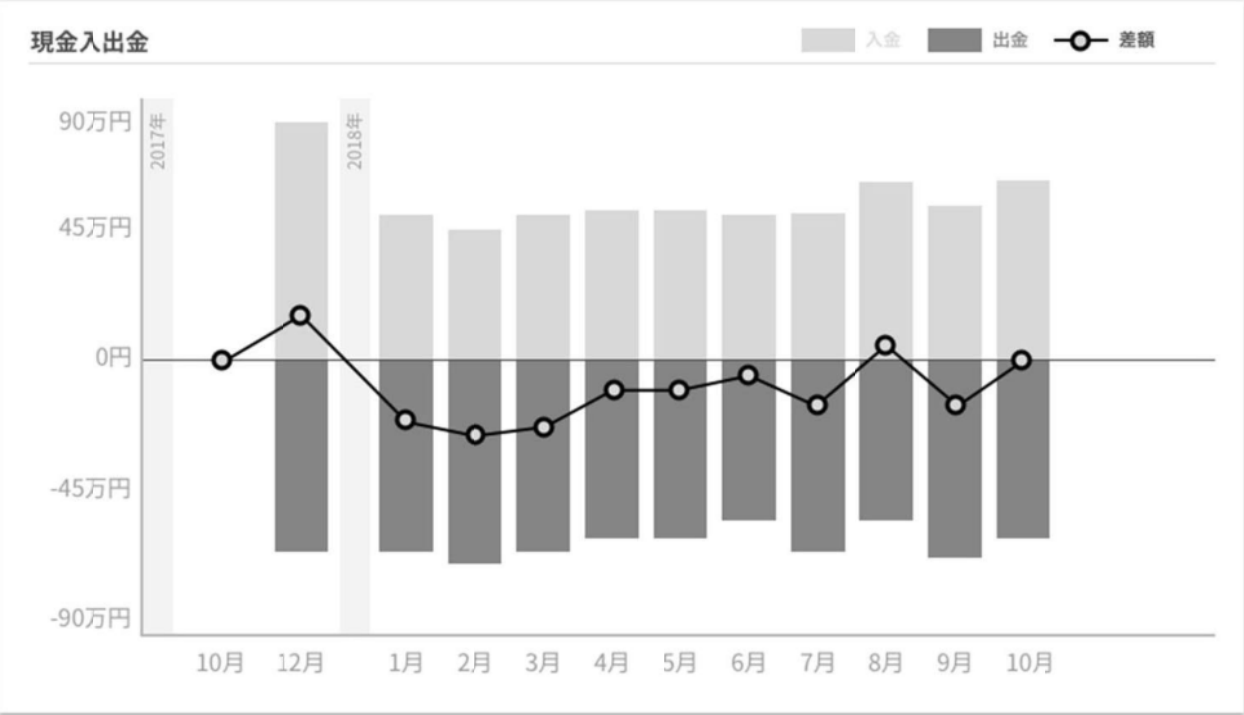
あなたの歩行年齢 **36歳**





# 3-(5) 可視化チャート「金融データ」

Discussion Purpose Only



### 3-(6) 利用企業へのパーソナルデータ提供指図

- 企業からのオファー内容を確認した上で、自身のデータを提供する企業オファーを選択する
- アプリ上でデータの提供(運用)指図が完了すると、データ利用企業への提供が開始される

オファー確認画面



① データを提供する  
企業オファーを選択

② アプリ上でデータ提供  
(運用)指図が完了

③ データ提供(運用)は  
いつでも中断可能

提供指図設定画面



### 3-(7) パーソナルデータの提供対価

- データの運用対価は、金銭及びサービスで還元される
- 還元されるサービスは、自身の提供したデータを元にパーソナライズされたサービスが提供される

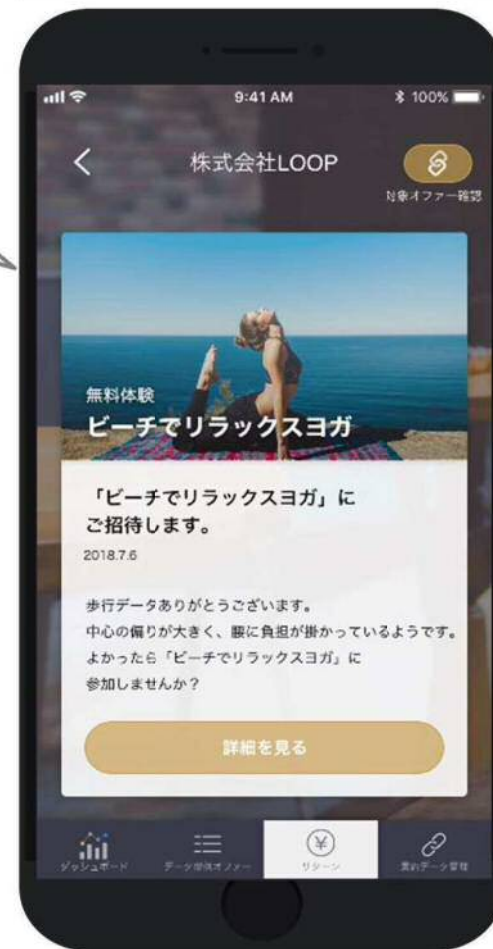
対価確認画面



① データ提供(運用)から得た対価を確認できる

② データ提供により、パーソナライズサービスが対価として受け取れる

サービス確認画面



- 本資料は、ディスカッション用に作成されたものであり、三菱UFJ信託銀行の個別の商品、サービスを勧誘することを目的としたものではありません。本ディスカッション或いは資料だけで契約が成立するものではありません。従って、当社はいかなる種類の法的義務、或いは責任を負うものではありません。
- 本資料は信頼できると思われる各種データ等に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、当社は責任を負いません。
- 本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。
- 商号等：三菱UFJ信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号
- 加入している協会の名称：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

本資料に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社

経営企画部

齊藤 達哉 03-6214-7925 tatsuya\_saito@tr.mufg.jp